

## 令和元年度第1回箕面市社会教育委員会議会議録

- 1 日 時 令和元年（2019年）7月8日（月） 午後2時～4時10分
- 2 場 所 箕面市役所 別館3階 教育委員会室
- 3 出席者（委 員） 黒瀬委員（議長）、九後委員（副議長）、沖委員、日根委員、山本委員、上田委員、西岡委員、林下委員  
（事務局） 小林担当部長、野澤副理事、村中室長、菅原室長、岩永室長、大迫館長、遠近室長、森口室長、北急まちづくり政策室黒田室長、北川グループ長  
（傍 聴） なし

- 開会に先立ち、委嘱書の席上配布
- 教育長挨拶
- 委員及び事務局の自己紹介
- 配付資料確認

### 開会

（事務局）

今回は新たに選任された社会教育委員による初めての会議であるため、箕面市社会教育委員会議規則に基づき、議長が決定されるまで、会議の議長を生涯学習担当部長が務める。

（小林担当部長）

議長が選任されるまでの間、議事を進行する。まず委員の出席状況につき事務局より説明を求める。

（事務局）

10名中9名の委員が出席。1名は欠席との報告を受けている。過半数以上の出席があるので会議は成立している。

### 日程1 議長、副議長等の選出について

（小林担当部長）

箕面市社会教育委員会議規則第2条により、議長及び副議長は委員の互選によることとなっている。意見を願います。

（委員）

前回は引き続き黒瀬委員が適任かと思うので推薦する。

（小林担当部長）

黒瀬委員を推薦するとの意見が出たが、承認頂ける場合は拍手を願います。

(委員) (拍手を持って承認)

(小林担当部長)

皆様の承認を頂けたので、議長は黒瀬委員にお願いする。

○議長交代

○議長挨拶

(黒瀬議長)

それでは次第に沿って議事を進める。引き続き副議長の選出について意見をお願いする。

(委員)

議長に一任。

(黒瀬議長)

「議長に一任」との意見が出たが、承認頂ける場合は拍手をお願いする。

(委員) (拍手を持って承認)

(黒瀬議長)

それでは副議長に九後委員を推薦する。承認頂ける場合は拍手をお願いする。

(委員) (拍手を持って承認)

○副議長(九後委員)挨拶

(黒瀬議長)

続いて「社会を明るくする運動推進委員」を選任する必要がある。事務局から説明をお願いする。

(事務局)

< 【社会を明るくする運動】の概要説明 >

例年、箕面市青少年を守る会連絡協議会より推薦された委員にお願いしているが、本日、箕面市青少年を守る会連絡協議会より推薦の西野委員が欠席されとのことだったので事前に西野委員に連絡し、了承を頂いた。事後報告となったが、西野委員を選出させて頂いたのでご了承のほど、よろしく願います。

(黒瀬議長)

事前に了承があるとのことなので、「社会を明るくする運動推進委員」は西野委員として選任することとしてよいか。

皆さん、頷いておられるので西野委員を選出することとして承認する。

## 日程2 社会教育委員について

(事務局)

＜ 資料（P5～10）に沿って社会教育委員の職務について説明 ＞

社会教育法に規定された特別職非常勤職員で、社会教育に関する事項の計画立案、教育委員会の諮問答申などが主な職務であること、過去の会議の開催状況、本市の機構、生涯学習関連の組織体制などを説明。

(黒瀬議長)

昨年は地震・台風で1度しか開催できなかったのですが、今年はそのようなことがないように開催し、活発に意見をだして頂きたい。この説明に対し質問・意見があれば願います。

(委員)

過去の開催回数を見ると2回ずつになっているが、元々3回あったように思う。

(事務局)

昨年度については、地震・台風のため延期し1回となった。予算は3回分あるが議題がない。

## 日程3 令和元年度生涯学習関係事業予算について

＜ 事務局より資料（P13～37）に基づき、全ての事業予算、所管している施設について説明 ＞

村中室長：文化国際室

菅原室長：生涯学習・市民活動室

岩永室長：天然記念物室

大迫館長：中央図書館

第31回の紙芝居まつりのチラシを席上に配布している。7月13日は第29回の紙芝居コンクールの最終審査になっている。夏休みにかけて箕面・世界子どもの本アカデミー賞を実施。11月に授賞式や受賞作家のオーサービジット、子どもの司会運営やオスカー像の作成など子どもに関する事業を実施している。

遠近室長：保健スポーツ室

森口室長：総合水泳・水遊場整備室

市内に公設の屋内プールがなかったため、昨年度、ニーズ・可能性調査などを実施し、検証した結果、健康増進の目的から整備する。

(黒瀬議長)

ただいまの説明について、何か意見・質問があれば願います。

(委員)

新規のスポーツに親しんでもらうため、市民ニーズを施設の充実にどう取り入れているのか。

(事務局)

大人のスポーツ・トライアル事業として、まだ案の段階だが、3館のスポーツ教室で勤労世代の30歳～40歳代の参加者を対象に調査し、ヨガやティラピスなどが女性に人気があった。球技などにチャレンジしてもらえるよう誘導できないか検討中で、まもなく事業としてできると思う。

(委員)

生涯学習・市民活動室の15番事業の公共施設予約システム管理運営事業の4750万円は市内の文化施設14館・体育施設3館に対するものか。50番事業の公共施設予約システム管理運営事業（臨時）と重複するのか。

(事務局)

重複はしない。市内の文化施設14館・体育施設3館を一括管理するもの。

(委員)

02番事業の東生涯学習センター管理事業は、昨年度に比べ予算が倍増しているのはなぜか。

(事務局)

平成30年度までは市職員が窓口業務を担っていたが、今年度から窓口業務委託となったため、予算が増額となった。

(委員)

会議資料P36の施設利用状況は平成28・29年度までだが、平成30年度は市の熱中症対策の方針として夏の小・中学校のグラウンドやプールが昼間使え無い状況だったので、第1・2総合など、子ども達の使用は増えているのか。

(事務局)

学校が熱中症対策で使えないため、瀬川第1テニスコートを朝の6時台に団体が使っている。期間は短いですが、子ども達の利用と思う。

(黒瀬議長)

図書館で子どもの居場所事業などを行っているが、蔵書も含め、子育て支援にかかる予算の割合は増えているのか。

(事務局)

例年に比べて増えてはいないが、平成27年に中央図書館をリニューアルして子連れでも使いやすい施設、環境作りを行った。他の館も同じように施設を充実させるため、東図書館のリニューアルについて、補正予算で設計・改修について検討している。

(黒瀬議長)

家庭環境に左右されないように、市として子どものため力を入れて欲しい。

#### 日程4 箕面市生涯学習推進基本計画について

<事務局より箕面市生涯学習推進基本計画の冊子に基づき説明。(冊子P1～)>

(事務局)

冊子のP1のとおり趣旨としては平成4年に策定した生涯学習推進構想に基づき「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習ができる環境整備に取り組んできた。資料P31にあるように平成19年度には施設利用者が年間162万人、図書の貸出も129万冊あり、市民のみなさんの自主的な取り組みによるもの。冊子のP2、P3については位置づけや計画期間について、P8、P9には箕面市が目指すべき生涯学習社会、ニーズと対応策について載っているので、ご一読頂きたい。

(黒瀬議長)

今の説明について、何か意見・質問があればお願いします。

冒頭、教育長の話にもあったが令和2年度末をもってこの計画が終わった後の指針について、昨年度の会議の検討課題となっていたが、検討された結果があればお願いします。

(事務局)

この計画について先ほど説明したが、令和2年度末をもって計画期間が満了する。今後の取り扱いについて平成30年度の会議の中で検討課題となっていたので事務局の考え方を報告する。冊子なのかA3程度のものなのかについては、総花的な冊子ではなく、A3版程度の指針方針となるようなものを策定したいと考えている。参考としては、席上に配布している「教育大綱」のようなもので、生涯学習に特化した指針を策定し、進捗管理を行っていきたいと考えている。

(黒瀬議長)

今の説明、この計画のまとめ方についても、何か意見はないか。前回の会議で新たな指針の策定とあわせて、生涯学習審議会と社会教育委員会議との棲み分けも検討課題となっていたと思う。

(事務局)

生涯学習審議会との棲み分けについて、国や他市の状況を参考に市として検討した結果、配布資料の「生涯学習審議会と社会教育委員会議で審議する内容について(①の図)」の「生涯学習」と「社会教育」のように取り扱う範囲を棲み分け、これに合わせて生涯学習審議会と社会教育委員会議で審議する内容を「生涯学習審議会と社会教育委員会議で審議する内容について(②の表)」のとおり棲み分けを検討した。

社会教育委員会議では、教育による学習から学校教育、家庭教育の範囲を除いた社会教育の範囲について協議頂き、教育委員会の諮問に対し意見すること、研修会の参加や補助金審査等をお願いすることになる。

(黒瀬議長)

資料や、今の説明について、何か意見・質問があればお願いします。

(委員)

わかりやすい図になっているが、審議内容は重複するように思う。生涯学習審議会の構成メンバーはどのような方なのか。

(事務局)

小中学校校長会選任の校長先生で本会議のメンバーの高岡校長と社会福祉協議会、PTA連絡協議会、メイプル文化財団、生涯学習センター利用者協議会の方（3館輪番制）、体育連盟、学識経験者として千里金蘭大学の教授、大阪青山大学の准教授を各1名と市民委員2名の計10名に務めて頂いている。

(委員)

生涯学習審議会も10人と同じ規模のようだ。開催頻度はどの程度か。

(事務局)

予算は3回分ある。

(委員)

生涯学習は学校教育を含めた大きなくくりの審議会になると思うが、社会教育に関する事項の研究調査という棲み分けが定かでない。どちらも参加された高岡委員はどう思われたのか。

(委員)

どちらも参加したが、全般的な幅広い範囲だったと思うが内容的には重なっていた様に思う。

(事務局)

昨年度の開催は1回。生涯学習は学校・家庭を除いた部分と自己学習を含む大きな指針で、教育大綱でいう1～5の枠の中に該当する部分を生涯学習審議会で審議し、社会教育委員会では「■」の具体的な取り組みに関しては意見を頂きたいと考えている。重なる部分はうまく整理しながらブレないようにしていきたい。

(黒瀬議長)

生涯学習は広い視点で人生100年時代のロードマップ的なもので、社会教育は法律に規定されているような具体的な内容で予算等も含め考えていく場になるかと思うが、具体的に落とし込んでいくのは難しいと思う。また、2つも必要かという意見もでるかもしれない。

(事務局)

市としても悩んでいるところであるが、次の指針などはこの体制で進めていき、他市の状況なども確認し、検証しながら、統合している市もあるので、将来的には合同で会議をしたり、どこかのタイミングで統合することもあり得るが、ひとまずこの整理の中で進めさせて頂きたい。

(委員)

それぞれなりの考え方・意見が出るので、同じするなら2つ審議会があることを利用して「良いものを作

っていく、上手に整理して、それぞれを活かして進める」というような捉まえ方をして頂きたい。

(黒瀬議長)

今後の進め方としては走りながら考え、良いものを作っていくということ、課題が出れば委員と話をしながら進めて頂きたい。他に意見・質問等があれば願います。

今後の計画のまとめや新しい指針の策定、生涯学習審議会と社会教育委員会との棲み分け、今後の進め方なども含め、委員から出た声を活かして、計画や指針についても「作った」「まとめた」だけで終わらせることのないようお願いする。

## 日程5 社会教育事業補助金について

<事務局より資料(P45～49、補助金要項等)に基づき概要・申請状況について説明>

(事務局)

<補助金の概要について>

社会教育事業補助金交付要綱に基づき事業を実施している。対象事業は資料P45の第2条のとおり。補助金の上限額は、予算の範囲の中で1団体1事業につき15万円まで、対象となる事業費の3割までを助成する。同じ団体が、同じ趣旨の事業に対して交付が受けられるのは5回までとなっている。

公益信託大乘弘照箕面芸術文化振興基金は、以前箕面市在住だった大乘弘照氏が箕面市の芸術・文化の振興に寄与するために作った公益信託で、事務局はみずほ信託銀行。市の文化振興に関係する基金であるため、文化国際室で応募団体の受付を担っている。総額150万円の予算の範囲の中で、1事業につき25万円が上限額で、対象となる事業費の5割までを助成している。

<本年度の申請状況について>

社会教育事業補助金は資料P43のとおり。応募期間は5月7日(火)から5月17日(金)まで、広報誌、ホームページ等で公募し、予算は432,000円。5団体の応募があり、交付申請額の合計は425,000円。今回は5回交付済みの団体が定例の開催内容とは違う内容で申請しているものが2件あり、表の1番:箕面市民合唱団は、40周年記念事業として少年少女合唱団と合同で定例の演奏会とは違った形で、世代間交流を目的に7月7日に実施された。表の4番目:箕面市音楽協会も、定例の合唱会だけでなく、バンドフェスや市民から募集したハレルヤコーラス隊のコーラスや、子ども指揮者なども取り入れ、趣向をかえた事業として申請されている。

大乘弘照芸術文化基金助成金は資料P44のとおり。4月10日(水)から5月9日(木)まで募集して、13団体、2,331,000円の応募があった。助成対象団体の選考は、大乘弘照箕面芸術文化基金運営委員会で審査をお願いしている。

(黒瀬議長)

この説明について意見・質問等があれば願います。

(委員)

社会教育事業の表1番と大乘弘照の表7番(箕面市民合唱団)、社会教育事業の表4番と大乘弘照の表9番(箕面市音楽協会)、表5番と表9番(箕面楽謡会)は同じ事業であるが、両方へ申請可能なのか。

(事務局)

申請は両方にできるが、社会教育事業補助金の方は他で補助や助成を受ける場合は対象外となるので、助成を受けられるのは、どちらか一方だけとなる。

(委員)

申請は両方に可能だが、結果的にはどちらかに落ち着くということか。

(事務局)

そのとおり。

(黒瀬議長)

この件についても昨年度の会議の中で、社会教育事業補助金制度の交付回数の5回制限について検討課題となっていたが、事務局で検討した結果があれば願います。

(事務局)

5回制限によって申請できる団体が減ってきているのではないかと、既存の前向きにやっている団体を支援する必要があるのではないかと意見があり、検討した結果を説明する。

平成15年度に5回制限を設けた趣旨は「既存の団体に新しい事業を実施して頂きたい」「団体の自立的な運営を促すこと」「特定の団体に偏らないように広く色々な団体へ補助すること」で、社会教育委員会議の意見をふまえて「交付基準」に同一事業への補助金の交付は原則5回とする旨が規定された。「既存の団体が新しい事業を」という点は、今回2つの団体が定例の催しとは違う趣旨の申請があり、既存の団体が新しい事をした点で5回制限をした趣旨と合致している。2つ目の「自立的な運営」という点では、過去に予算が足りない、概算払いがなければ実施できない団体もなく、自立した運営ができていると思われる。既存の団体の支援として、5回を超えている団体は、大乘弘照芸術文化振興基金の助成金を申請されているので支援は継続されているのが現状である。

以上のことから、交付回数の5回制限については継続していく。

(黒瀬議長)

今の説明について、意見・質問等があれば願います。

〈 特になし 〉

(黒瀬議長)

続いて日程5社会教育事業補助金等について(2)の「委員の選出について」事務局より説明をお願いする。

(事務局)

委員の選出について、補助対象団体や金額を決める審査委員を、社会教育委員の中から選出頂いている。社会教育事業補助金審査委員は、交付要綱の規定により社会教育委員の中から3名を選出頂きたい。

(黒瀬議長)

社会教育事業補助金審査委員として3名の推薦依頼があったが就任を希望される方、または推薦される方

があれば願います。特に、意見等が無いようであれば事務局へ一任してよいか。

〈 異議なし 〉

(事務局)

補助金の当事者団体と直接関わりのない委員として、前委員の高岡委員と、市民委員の西岡委員と林下委員の就任をお願いしたい。本来、審査会の結果を本会議に諮った上で、決定すべきだが補助金の執行がずれ込むため、文書で皆様に審査結果を報告の上、意見を頂き、補助金の決定をさせて頂きたいので了承願いたい。

(黒瀬議長)

事務局より校長会選出の高岡委員、市民委員の西岡委員と林委員を推薦するとの意見があったがよろしいか。

(委員)

異議なし

(黒瀬議長)

3名の皆さん、審査委員として、よろしく願います。

(黒瀬議長)

次に公益信託大乘弘照箕面芸術文化振興基金助成金運営委員については、委員1名の推薦依頼があった。どなたか就任を希望される方、推薦なさりたい方など何か意見等はないか。ないようなら事務局一任でよいか。

(委員)

異議なし

(事務局)

基金申請当事者団体と関わりの無い、現在委員の高岡委員に引き続きお願いしたいと考えている。

(黒瀬議長)

事務局より高岡委員を推薦するとの意見があった。何か意見はないか。

(委員)

異議なし

(黒瀬議長)

高岡委員、よろしく願います。

## 【日程6：その他】

(黒瀬議長)

その他について、何かあるか。

(事務局)

資料の中の第6 1回全国社会教育研究大会のチラシについて全国の社会教育委員をはじめ、社会教育関係者が一堂に会し、社会教育について研究・協議する場になっていて、今年度は2名分予算措置しているのでご参加頂きたい。また、他にも研修会があるので、その都度、案内させて頂く。

特に今年度は、箕面市が研修会を開催する側として大阪府社会教育振興協議会の北ブロック研修会を開催するので開催日時や場所、内容は未定だが、来年1月か2月に開催したい。この研修も、社会教育委員の活動の一環として、ご参加いただきたい。日頃、取り組まれてる活動の発表の場として活用していただくこともできる良い機会なので、やりたいことなどあれば、この場で提案頂きたい。

(黒瀬議長)

何か意見・質問等があればお願いします。

昨年度は大東市で開催され、社会教育委員が何かすることはなかったが、各市持ち回りで研修を開催することになっていて、市の職員が市の取り組みを紹介していた。大東市は子育て支援のについて小学1年生になる子の家庭をチームを組んで全戸訪問したり、子育てサロンの話であった。箕面市として何を発信していくか決める必要がある。この研修会について何か意見はあるか。

(委員)

箕面市の開催日程は決まっているのか。

(事務局)

1月か2月に開催できればと考えている。

(黒瀬議長)

本日の案件は以上だが第1回ということで沢山の案件があり、昨年度の宿題もあったので時間がかかったが、今回は2年間のスタートとして、こんな会議にしたい、施設見学、共有したいこと、北ブロックの研修会で紹介したらいいと思うこと、ヒントになるようなことなど、一言ずつ意見を頂きたい。

(委員)

生涯学習推進基本計画が2020年度に12年目を迎えるので、どういう形に持って行けば12年のまとめができるのか迷っている。去年の会議のときに生涯学習推進基本計画の進捗状況がA3のプリントで、各部署が計画に基づいて実践されたことを綿密にまとめた報告がなされたが、それをどういう風に活かされているのか見えないので活用した方が良いという話をした。社会情勢も12年で変わっていて、災害などで生涯学習どころでなくなる事態になりかねない。現代の状況をふまえ、12年間のまとめをどういう形ですか、一定方向性を見つけていくのが大事。北ブロック研修会での発表もひとつの区切り、検討するきっかけとなるのでは

ないか。今までやってきたことを、どう実りあるものにしていくのか、今期の使命と思う。

(事務局)

指針を作る提案をせて頂いたが、今の計画について最終のとりまとめの効果検証をふまえながら、それを活かして今の時代に合わせて指針を作る。これまでの実績などを上手く活用しながら新しい指針の作成の際にも、ご意見を頂きたいのでよろしくお願いしたい。

(委員)

会議のための会議は無いようにして頂きたい。職員も何年か異動でかわる。当て職の委員もかわる。

行政として少子高齢化についてどう捉まえているか。少子化社会は大変なことなので全てのベースとして、将来のこと、次の世代のことを真剣に考えて取り組んで頂きたい。市長が健康管理に努力するよう言っているが、どれだけの市民に伝わっているのかなども、生涯学習にも関わってくると思う。

(黒瀬議長)

計画を進めていく上でも軸は大切である。

(委員)

社会教育委員は2年前にもやったが、当時何をしているのかわからなかった。今回も生涯学習と社会教育の違いで混乱している。船場の新しい施設に図書館や生涯学習センターができて、図書館では大学の蔵書を市民が利用できることなど、大きな社会教育の問題と思うが、今回の議題になっていないことが不思議だ。

(事務局)

船場の文化施設に関しては次回の開催時に、もう少し詳しい内容を説明させて頂けると思う。

(委員)

小学5年・3年・1年・2歳を育てていて日々回すだけで一生懸命。3年前に箕面市引っ越ししてきたが、子育て支援や医療費等は箕面は良いといわれた。図書館も通いたくなる場所になっている。アカデミー賞の取り組みは1年生の子どもも楽しみにしていて朝日新聞にも紹介されていた。名前もキャッチーで社会教育の発表として紹介しても良いと思う。子どもの人数が多いと子連れで行けるところが限られ、市民プールも3年生以下は2人までしか連れて行けない。安全面で難しいのかもしれないが、学校では1・2限目、気温が低いと入れないこともあるので、新しいプールを作るのもいいが、市民プールの監視員を増やすなど、子どもにやさしいと有り難い。日々、感じていることが、この2年間で、反映されれば良いと思う。

(委員)

初めて引き受け、今回は勉強するだけで精一杯だった。次回は多少なりとも意見したい。

(委員)

箕面に住んで50年、夫は80年になるが、ずっと仕事をしていたので箕面のことを知らない。公共施設も行ったことがない。仕事は大手企業のダイバーシティや女性社員のモチベーションアップ、顧客満足など

について、社員研修の講師をしてきた。企業は利益を上げるなど、方向性も一本筋が通っているが、市政など、市民に対するものは難しいと思う。企業の考え方を国・府等も取り入れ税金を無駄に使わないで欲しい。

(委員)

生まれも育ちも箕面で箕面市しか知らない。子どもが2人いて長男も箕面市に住み、西南小学校に孫がお世話になっている。30年ほど前にPTAの副会長をした経験があるが、それ以後やっていない。委員を引き受けたきっかけは、軽い気持ちで答えたアンケートだった。資料は見たが実情が身に迫ってこない。西南小のPTAコーラスの指導をしていて図書館にいたり、生涯学習センターを利用したり関わってきか、仕事には関わってこなかったの、これから、この会議で自分考えを伝えていきたい。

(委員)

地域で活動ができるのは市の施設・内容があるからできることを子どもに伝えていけたらいい。将来、子ども達が20歳になって箕面に住んでいるとも限らないが、大人になり住む地域でも社会教育はあるので、自分は何ができるのか、自分が主役となって社会を作っていくということを、考えられる子が一人でもいればいい。子どもの頃「みどりとかかぬ」という冊子で図書館や公民館、スポーツ大会の写真等が載っていて、知らず知らず箕面のことを、ごく自然に学んでいることを思い出した。行政だけでなく、先日、カルピス100周年だったが、歯ブラシの世界的な会社など色々連携していくことで、幅広い社会教育になると思う。

(黒瀬議長)

この会議は、もっとディスカッションしたいと思う会議にしたい。皆様の協力が必要となる。本日の日程は以上として、最後に次回会議の日程について、事務局から願います。

(事務局)

次回は、10月か11月頃を予定しているので、またお知らせするので、よろしく願います。

(黒瀬議長)

次回の内容は、色々な意見が出たと思うので、これを汲んで願いたい。それでは本日の会議を終了する。

(委員)

紙芝居まつりについて、メイプルホールで14日まで1階で展示、2階の視聴覚室に全部の作品を飾っている。13日(土)は最終審査。14日はメイプルホール1階の小ホール・中央生涯学習センターロビーで10時から3時で全国の紙芝居の実演がある。箕面祭りにも子ども達が実演するので見てやって欲しい。

(委員)

美術協会の工芸の部の大西かおりという会員が、G20の参加国の首脳に送った器(天満切り子)を作った。協会展や会員展にも出展しているのでご覧頂けるので紹介する。

以上